

<最終目標> **歴史的思考力を育て、過去との対話を通じて未来を創る主体性を身につける**

1	今年度の達成目標	史料読解能力と歴史的思考力を身につける 進研模試 55 以上	担当 教師	
2	地理歴史科の指導戦略 <授業の指導戦略> (1) 思考する学習の展開・・・ 「覚える」のではなく「考える」活動を重視した授業を展開します。 (2) 史料読解力の育成・・・ 多くの史料を読むことで、事実在即した思考力を身につけます。 (3) 事実に基づく歴史観の形成 (4) 学び合いの重視・・・ 生徒同士の学び合いを重視した授業を展開します。 <授業外の指導戦略> (1)進研模試・・・ 年5回実施されます。 (2)河合模試・・・ 年4回実施されます。	事実在即し、論理的な意見を組み立て発信する力を育てます。 生徒同士の学び合いを重視した授業を展開します。		
3	指導教科書	詳説日本史（山川出版）		
4	補助教材	新詳日本史（浜島書店） 詳録新日本史史料集成（第一学習社） 入試に出る日本史 B 用語&問題 2100（Z会出版） はじめる日本史50のテーマ（Z会出版）		
5	評価・評定の方法	(1) 日頃の観察や小テストなどで「15点/15%換算」します。 (2) 定期考査で「100点満点/85%換算」します。 (3)評価の観点（4項目） ＊社会的事象への関心・意欲・態度 ＊社会的な思考・判断・表現 ＊資料活用の技能 ＊社会的事象についての知識・理解		

《生徒諸君へ》

国公立難関私大演習（日本史）を受講することが望ましい。

地理歴史科指導計画

	教科行事	日本史 B	内容	達成目標(Can-Do)
4月		第8章 幕藩体制の動揺	西洋諸国との関係、国内の経済的發展、民衆運動などの複数の視点から江戸中期以降の政治や文化について考察する。	○ 幕藩体制の動揺の理由について多角的な視点から概観することができる。
5月	中間考査	第9章 近代国家の成立	幕末の状況について理解する	○ 江戸時代の終焉がいかなる理由から起こったのかを説明することができる。
6月		第9章 近代国家の成立	近代化をキーワードに明治維新の諸政策とそれが抱えた社会的矛盾について理解する。	○ 明治時代の状況について、明治維新时期・国会開設期・日清、日露戦争期と三区分に分けて理解できる。
7月	期末考査 夏季講習 I	第9章 近代国家の成立	日清・日露戦争が東アジア地域にどのような影響を与えたかを考える。	○ 明治時代の状況について、明治維新时期・国会開設期・日清、日露戦争期と三区分に分けて理解できる。
8月	夏季講習 II			
9月		第10章 二つの世界大戦とアジア	第一次世界大戦の影響を民衆運動の高揚をキーワードに考える。	○ 第一次世界大戦からベルサイユ・ワシントン体制成立までの政治過程を説明することができる。 ○ 大正デモクラシーの様相について説明することができる。
10月	中間考査	第10章 二つの世界大戦とアジア	昭和初期から第二次世界大戦までを概観し、戦争が起こった背景について考える。	○ 昭和期の恐慌と軍部の台頭について関連付けて説明することができる。 ○ 日中戦争から第二次世界大戦までの展開について説明することができる。
11月		第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の時代 第13章 激動する世界と日本	GHQの占領政策と独立後の日本と世界について冷戦をキーワードに考える。	○ GHQの占領政策と冷戦構造について説明することができる。 ○ 55年体制を中心に独立後の政治・経済状況について説明できる。
12月	期末考査	第13章 激動する世界と日本	冷戦終結後の世界と日本の状況について概観し、社会を担う一員として自覚を持つ。	○ 冷戦崩壊後の社会について、グローバルな視点で説明することができる。
1月				
2月				
3月				